

『2016年度版 スパッとわかる宅建士 過去問プラス要点超整理』追録

本追録に『2016年度版 スパッとわかる宅建士 過去問プラス要点超整理』の内容に関する訂正箇所、法改正及び統計のポイントをまとめました。

●訂正

・310 ページ No. 1

(誤)「正解4」→(正)「正解1」

・310 ページ No. 1 第2肢

(誤)「○」→(正)「×」

・310 ページ No. 1 第3肢

(誤)「○」→(正)「×」

●法改正

・353 ページの用途制限のポイント

ダンスホールの用途地域が、カラオケボックスと同様になりました。

	改正前	改正後
⑥第二種住居地域	カラオケボックスを	カラオケボックス、ダンスホールを
⑨商業地域	ナイトクラブ、ダンスホール、及び	ナイトクラブ、及び

●統計資料（例年、本試験「問48」にて出題される重要項目）

1. 地価公示（平成28年地価公示（平成28年3月公表））

平成27年1月以降の1年間の地価について

- ・全国平均→全用途平均で昨年までの下落から上昇に転じた
- 住宅地→わずかに下落しているものの下落幅の縮小傾向が継続している
- 商業地→今年の横ばいから上昇に転じた

・三大都市圏

- 住宅地→ほぼ前年なみの小幅な上昇を示す
- 商業地→総じて上昇基調を強めている

・地方圏

- 地方中枢都市→全ての用途で三大都市圏を上回る上昇を示している
- 地方圏のその他の地域→全ての用途で下落幅が縮小

2. 土地白書（平成 28 年版。平成 28 年 5 月公表）

売買による所有権の移転登記の件数（平成 27 年）：128.7 万件（前年比 2.4%増）
⇒前年の減少から再びの増加となった

3. 住宅着工統計（平成 28 年 1 月 29 日公表）

- ・平成 27 年の新設住宅着工戸数：約 91 万戸
⇒前年比 1.9%増。昨年の減少から増加
- ・利用関係別戸数
 - 持家：2年連続の減少
 - 貸家：4年連続の増加
 - 分譲住宅：昨年の減少から増加
 - マンション：昨年の減少から増加
 - 一戸建て：2年連続の減少

4. 法人企業統計（財務省，平成 27 年 9 月 1 日公表）

- ・不動産業の売上高（平成 26 年度）：
約 36 兆 9,800 億円（前年度比 1.9%減，2年ぶりの減少）
- ・不動産業の経常利益（平成 26 年度）
約 4 兆 6,000 億円（前年度比 12.9%増。2年連続の増加）

5. 国土交通白書（平成 28 年 6 月 10 日公表）

- ・宅地建物取引業者数
⇒約 12 万 3,000 業者（平成 26 年度末）→9年ぶりの増加

以上